



第30回 スマイル インタビュー



活動後、会員の方が事故でお亡くなりになり心よりお悔やみ申し上げます。

亡くなられた一本杉烈征（やすゆき）さんは84歳で最高齢にもかかわらず児童の見守りにも精力的に活動され感謝していましたが、大変残念です。

設立のきっかけは？

昭和54年ごろ、全国で学校内トラブルが多発し、校内の器物破損や公共物に落書きするなど、非行が発生していました。保護司会と自治会長を兼務していた初代会長が地域ぐるみで「青少年の育成を」提案し昭和57年に結成したのが始まりです。

活動の内容を教えてください

通学路での見守り活動をはじめ、3世代グラウンドゴルフ大会、防犯の広報活動、地域内の清掃などです。

会員の人数と年齢構成、男女比は？

推進員は42人で、50歳から80歳までの方です。うち男性が39人、女性は3人です。



朝の見守り活動

これまでの活動を振り返ってうれしかったことは？

平成26年に、32年間の活動が評価され内閣総理大臣表彰を受けました。見守り活動で児童のかわいいあいさつが返ってくるとう癒されます。

今後の活動目標は？

明るい街づくりで活性化し、児童の健全な育成の一環を引き続き担っていききたいと思っています。

あとかぎ

今夏、市内の小・中学校の児童・生徒のみなさんは、コロナ禍による長期の臨時休校をリカバーするため、夏休みが大幅短縮され酷暑の中、登校を余儀なくされ、大変でした。

教育は対面授業があくまで大原則ですが、コロナ禍により再度の長期休校になった場合、ハイパスとしてのオンライン授業の体制構築は必要不可欠となります。

国は、今回のコロナ禍で「IGAスクール構想」を前倒しし今年度中に児童生徒一人一台のタブレットを整備する方針を打ち出しました。

市教委は今定例会で、3学期早々には、タブレットの一人一台体制を実現できるとの見通しを示したうえで、教員へのオンライン授業の習熟度向上にも力を注ぐとしています。通信環境のない世帯をどうするかについて

では今後、近隣市町村の対応を参考にしながら決めていくそうです。

市教委にはいざという時に、子どもたちが安心して授業が受けられるよう、一日も早い準備をお願いします。

広報広聴特別委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 北地 範久 |
| 副委員長 | 小田上 尚典 |
| | 藤川 和弘 |
| | 原田 孝徳 |
| | 小中 真樹雄 |
| | 中川 智之 |
| | 日域 究 |

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

